

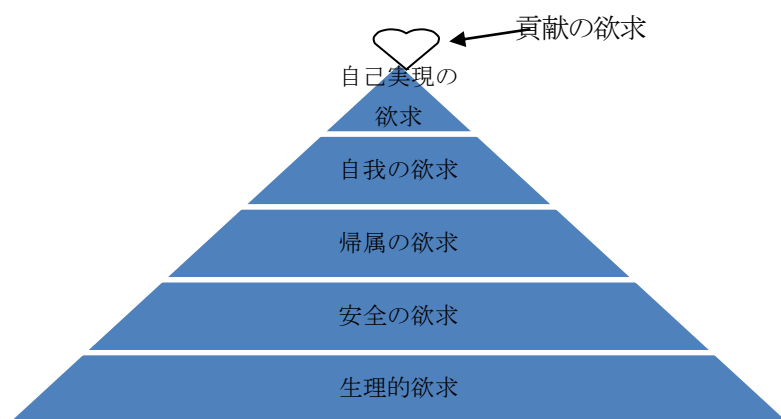
支援する会主催の教育講演会報告

7月12日(土)の14時から16時まで、燕三条リサーチコアで支援する会主催の教育講演会が行われました。当日の様子を1学年PTA役員の方がまとめてくださいましたので以下に報告します。

燕三条リサーチコアで「子どもの心のコーチング」の著者菅原裕子様から『10代の子どもの心のコーチング』という題で講演して頂きました。

子どもの生きる力を育て、その力を発揮するために親は何をすべきか!ということでした。そのために必要な3つの秘訣を教えてくださいましたので紹介します。

- 1、 愛することを教える…自己肯定感で自信をつけることです。親に肯定されることが大切だそうです。否定的なことや脅迫するような言葉、過剰な期待、無関心な態度、誰かと比較することなど、子どものやる気を損ねます。子どもの自立心は自分自身に自信がもてるようになり生きる力にもつながります。
- 2、 責任を教える…Responsibility(Response 反応+Ability 能力)反応する力を育てるということです。反応能力は鍛えないと身に付かないそうです。
例をあげると、朝起きられない→遅刻した→母が起こしてくれないからだ!→「ちゃんと起こしてよ!」と母に怒りをぶつける→起きられなかったことを母のせいにする→自分には責任がない・・・
遅刻したのは母の責任?
このようにほかに責任転嫁しないために親のできることは、「やる気を信じること」「任せること」「プラスの声かけをすること」です。(そういう私も先手を打って何でもしてしまうほうです。反省しなければと思います。)
- 3、 人の役に立つ喜びを教える…最上級の欲求(貢献の欲求:家族の役に立っている)喜びを実感することです。『マズローの五段階欲求説』というものがあるそうです。



子どもの自立はある意味親の最終目標だと思います。

このような講演会は燕中等教育学校を支援する会が保護者に向け毎年おこなっている講演です。ちなみに、昨年度は『東大生のノートはかならず美しい』の著者 太田あや様でした。ほかにも学年行事や講演会の案内があると思います。日程があえばどんどん参加してみてください。子育てや人生のヒントがあるかもしれません。



菅原裕子の講演会



ディスカッションタイム